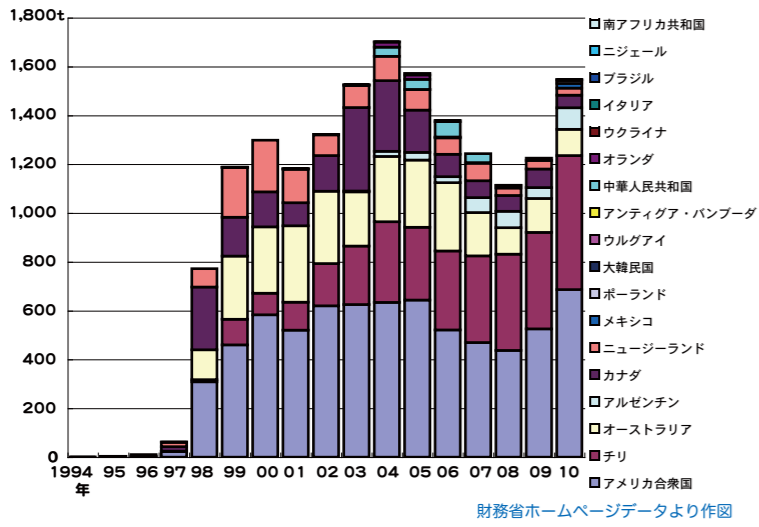


統計に見るブルーベリー生果実の輸入と東京市場入荷量

2010 東京都中央卸売市場ブルーベリー産地別入荷量

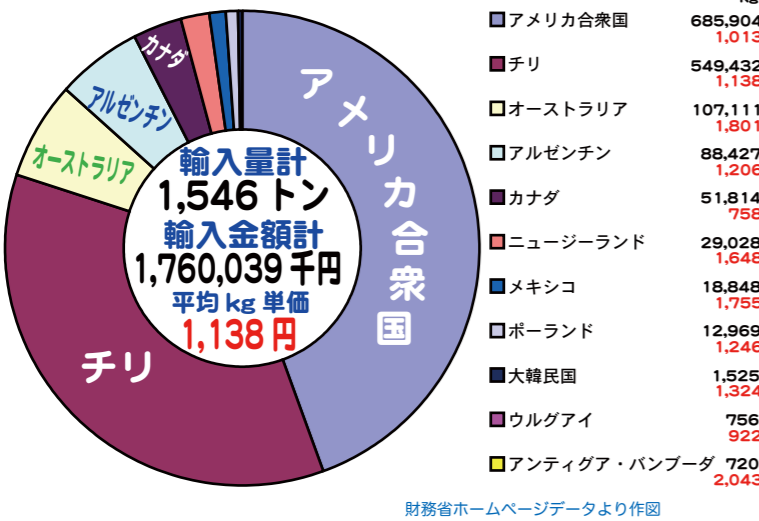
スノキ属生果実の産地別輸入量の推移



生果実の輸入が再び増加傾向

1998～99年から急激に増加したスノキ属の生果実の輸入量は2004年の1,701トンにピークに徐々に減って2008年には1,113トンにまでなったが、その後は再び増加傾向にあり、2010年は1,546トンにまで増えた。年次推移で増えているのはアメリカ(前年比130%)、チリ(前年比139%)、アルゼンチン(前年比199%)、それと量的には少ないがメキシコ(前年比203%)、大韓民国(前年比290%)がある。新顔としてはポーランドから13トン入った。一方、減っているのはカナダ(前年比68%)、オーストラリア(前年比77%)、ニュージーランド(83%)となっている。

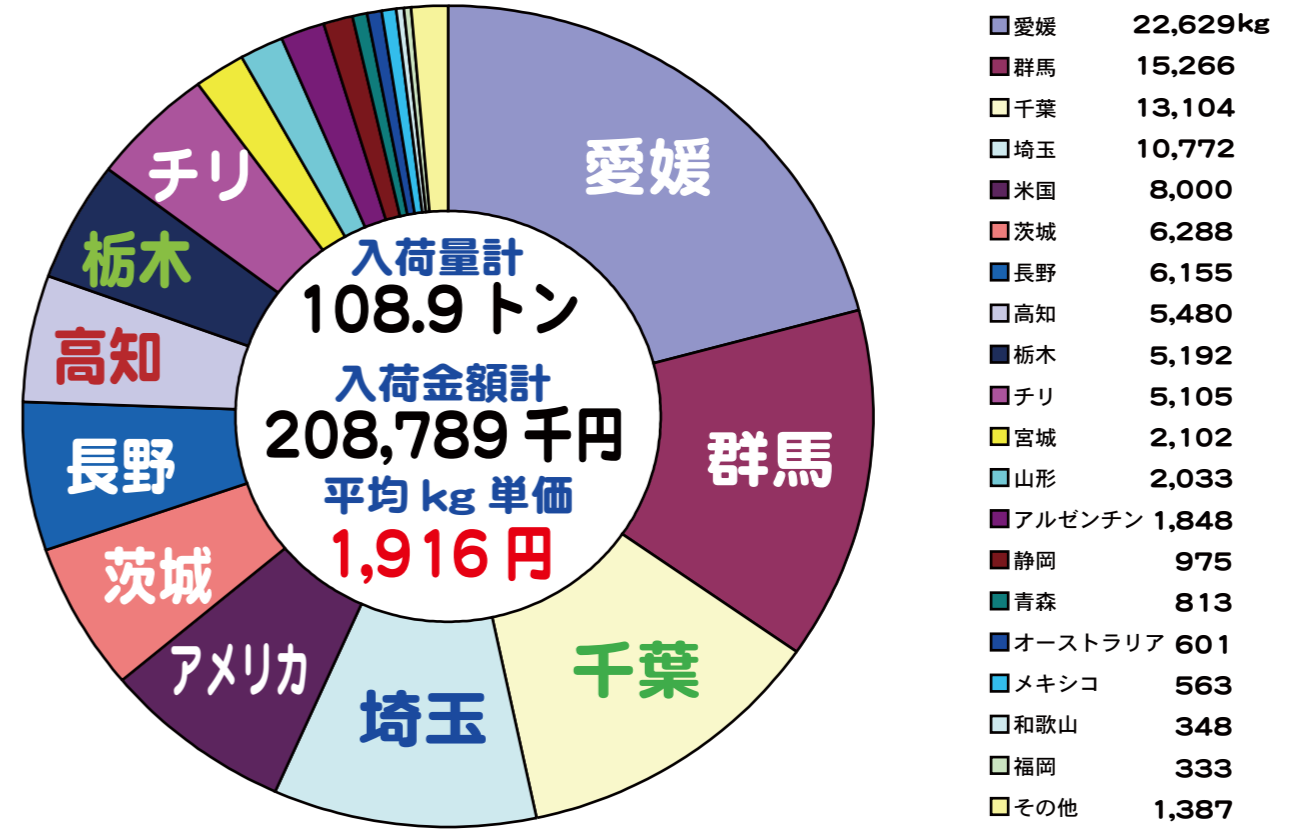
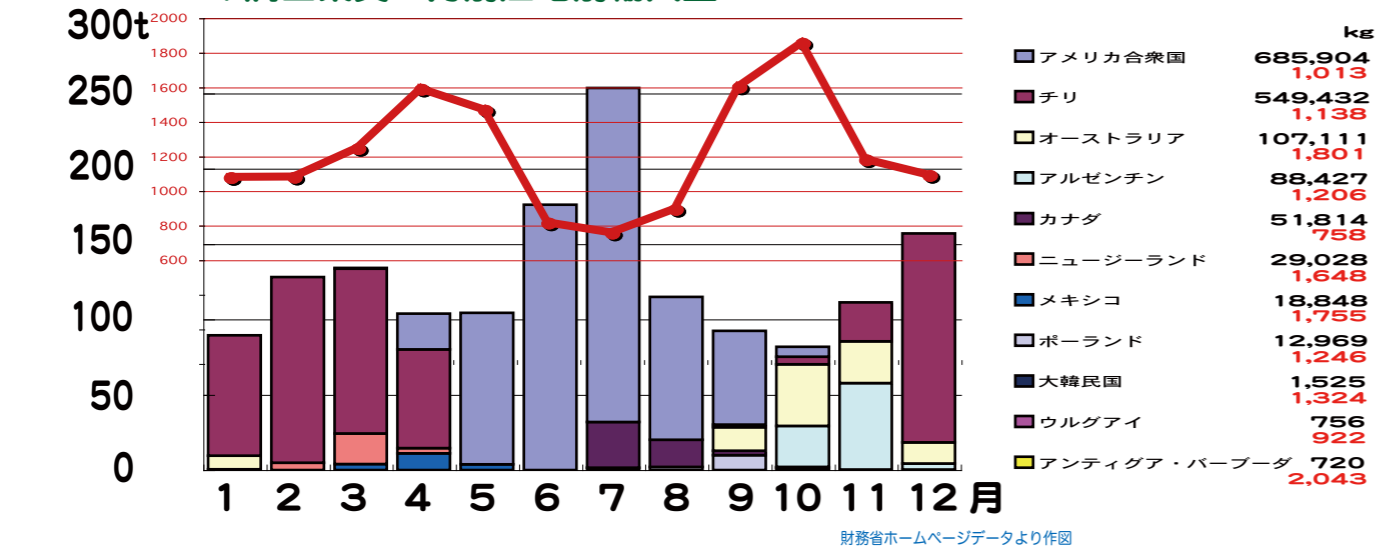
2010 スノキ属生果実の産地別輸入量



夏のアメリカと冬のチリで全体の8割を占めている

2010年の輸入量のトップはアメリカで686トン。4月～9月に入り、全体の44%を占める。第2位はチリで549トン。10月～4月に入り全体の35.5%を占めている。2010年の平均単価は1,138円だった。月別には4月が1,589円と10月が1,855円と高く、6～8月は800円前後と安くなっている。

2010 スノキ属生果実の月別産地別輸入量



東京都中央卸売市場の入荷増 前年比137%

市場入荷量は全国の生産量・輸入量に比べると少ないものの2009年の入荷総量は79トンであったものが、2010年は108.9トンと前年比137.8%に増加した。県別入荷量は愛媛県の1位は前年と変わらないが、昨年3位だった群馬が前年比137%と伸び2位に浮上した。3位になった千葉は前年比87%と減った。4位の埼玉は前年比167%と大きく伸びている。

平均単価は1,916円で前年比95%に下がった。月別に見ると出始めの5月が最も高く3,057円、入荷量が最も多い7月になると急激に下がって1,600円台になる。その後品薄の10月には2,327円と高くなっている。

グラフにはないが、市場別には大田市場が63.7トン、築地市場が21.6トンで両市場で全体の8割近くを占めている。

(文責:福田 俊)

2010 東京都中央卸売市場ブルーベリー月別入荷と平均単価

